

9ICG 特集

9ICG Brazil Guaruja の開催報告

太陽工業（株） 榎尾 孝之

4年に1度開催されるジオシンセティックス会議（International Conference on Geosynthetics）が5月24から27日の4日間にわたりブラジルグアルジャ市内の Sofitel Jequitimar Hote で開催された1(写真-1~2)。グアルジャはサンパウロから高速バスで約2時間に位置するビーチリゾート地である。現地はこれから秋に向かう季節であり、オフシーズンのリゾート地に各国からの参加者を迎えて開催されたというイメージであった。

実行委員会の事務局情報によると参加者数は総計で800名以上（Full Registration 525名）であった。

国別の参加者数のランキングは、開催国の Brazil が100名以上で1位、続いてアメリカ合衆国が50名以上で2位、日本は35名の参加者数で3位であった。Exhibitionへの参加企業数は74社、参加者数は171名であり、盛況を呈していた。

遠く離れたブラジルでの会議にも拘わらず、多くの日本人参加者があったこととして、本会議は4年前に開催された横浜会議に続く会議で、龍岡会長の会長任期の会議であったことも日本からの参加者数が多かった理由でもあろう。

4日間の会議は毎日、招待講演の Giroud Lecture/Keynote Lecture で始まりその後、各セッションに分かれて論文が発表された。Giroud Lecture/Keynote Lecture については本号の他の報告を参照されたい。総論文数は318編（42ヶ国）で口頭発表が200編、そのうち38編が日本の論文であった。3日目にはIGS総会（IGS General Assembly）のほか、Conference Dinner が盛大に催された。次回は2014年にドイツ ベルリン(Berlin)で開催される。

地球の裏側で開催されたブラジル会議に遠路出席された龍岡会長をはじめとする日本からの参加者の皆様、本当にお疲れ様でした。



写真-1 会議会場：Sofitel Jequitimar Hotel



写真-2 9ICG・オープニングセレモニー